
学園パラダイス！？

通電鉄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学園パラダイス！？

【Nコード】

N1677H

【作者名】

通電鉄

【あらすじ】

この物語は、性欲を持て余す正直者の男に視点を合わせた学園物語である。

ていく1

「ねえ、おっぱいとお尻。どっちが好き？」

時刻は12時15分。午前中の授業をだらだらと過ごし、やっとすきっ腹に物を入れて落ち着いてきた時間帯のことだ。

俺は我らがクラスのアイドルこと、ヒノメのお嬢さんから、なんとも反応に困る質問をされた。

正直、何言っただこいつと思う。

彼女が黒髪をさらりと伸ばした清楚な美人さんゆえ、余計に何言っただこいつと思う。

ほら、お嬢さん。少し落ち着いて周りを見てみるよ。俺以外のクラスメイトが、此方をガン見して固まっているぜ。お陰で、居心地の悪さマックスだ。数秒前までのリラックス空間がものの見事にぶち壊れちゃったよ。

彼女が女で美人でさっきの質問を本気でしているアホな子じゃなければ、文句の一つでもいってやるところだったぜ。

「おっばい」

とりあえず、正直者の俺は答える。

瞬間、周りの女子からは白い目を、男子からは「うわっ！ あいつ言いやがった」という目をいつせいに向けられた。

まあ、女子はいい。おっばいを迷わず選択した工口学生である俺を罵ってくれ。しかし、野郎ども！ てめえらの視線はム力つくぞ！ なんだその、恥ずかしい奴を見るような目は！？ 高校生で性欲を持て余すお前らだって、好きだろ！？ むしろ大好きだろ！？ おっばい！

心の中でそんな絶叫をしながら、俺は賢者面する男子どもを睨み付ける。すると、何人かは目を逸らしやがった。この、坊やどもが。

「おっばいなのか……？」

ヒノメのお嬢さんが、むっと眉を寄せ呟く。何処となく不機嫌だ。もしかすると、尻と言って欲しかったのか？ でも、残念だ。おっばいだけは譲れん。俺は首を縦に振った。

「そうか……おっばいか」

お嬢さんのかみ締めるような言葉に、クラスがシンツと静まり返る。なんだか居た堪れない空気だ。ここは、良い男してフォーローをしてやろう。

「まあ、つるぺったんでも大丈夫だ。揉んでもらえば大きくなる」

この発言の刹那。お嬢さん以外の女子から「下種が！」と声がかかる。

「揉めば大きくなるのか？」

「いや、違う。揉まれれば大きくなる」

「揉まれれば？」

「そう、好きな男にホイホイ付いて行つて、揉まれれば大きくなる。偉い先生もそう言っていたから間違いない」

「好きな男……」

お嬢さんの頬がほんのり薔薇色に染まる。うん、色っぽさが増したぞ。三倍ぐらい。性欲を持て余したエロ男子の視線も、そんなお嬢さんに釘付けた。逆に、女子は俺へ向け、ビームが出てきそうなほどキツイ視線を送ってくる。制服に穴が開きそうだぜ。マジで勘弁して欲しい。

お嬢さんもお嬢さんで、少し茶色がかつた瞳を潤ませ俺を見つめるのは勘弁して欲しい。俺の鉄の自制心に傷が入ったではないか。本当によかった。彼女が関東平野で。

「あつ……。あの……」

お嬢さんが口をモゴモゴさせながら喋る。俺はとりあえずクールな表情で「ん？」と答えた。

「その……だったら。えつと……あなたが揉んでくれるか？」

「ご氏名ですか？　ありがとうございます」

そうと決まれば精一杯ご奉仕いたします。白昼堂々学校であっても俺は気にしない。昔から山を作るのは得意だったんだ。

勿論、ただの砂山ですよ。おっぱいを作るのは流石に初めてです。だから、心臓がドキドキしている。これはきつと恋だ。ファースト

タッチから始まる二人のヒストリーだ。

まあ、現実是非情で、俺の手が彼女の胸へタッチする前にクラス
メイトから妨害された。
残念無念。

ていく1（後書き）

こんな感じで、つらつら書いていきます。
きっと、この学園にはろくな奴がいませんよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1677h/>

学園パラダイス！？

2010年10月28日05時11分発行